

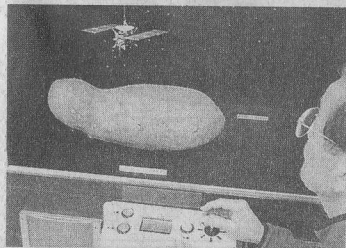
雑記帳



◇小惑星探査機「はやぶさ」がイトカワから微粒子を採取する様子をゲーム感覚で楽しめる装置が登場。写真。帰還カプセルとともに30日、4月3日、愛知県刈谷市総合文化センターで展示される。

◇十字のレバーとボタンを操ると、宇宙空間に見立てた約1立方メートルの箱の中で、はやぶさが上空から目標地点に着地。微粒子を採取して飛び上がる。同市のNPO法人「刈谷おもちゃ病院」の6人が仕上げた。

◇6人は自動車部品メーカーの技術者出身。装置には30万円かけ、4カ月で作った。いずれも「子どもたちが宇宙や技術に興味を抱くなら、いい恩返しになる」と、その出来栄に胸を張る。



【安間教雄】